

2007 年 7 月 16 日 10 時 13 分ころ新潟県上中越沖で発生した地震について

新潟県と長野県で震度 6 強

7 月 16 日 10 時 13 分ころ、新潟県上中越沖（新潟の南西、約 60 km）の深さ約 17 km を震源とするマグニチュード（M）6.8（暫定値）の地震が発生しました。

この地震により、新潟県の長岡市、柏崎市と刈羽村と長野県の飯綱町で震度 6 強を、新潟県の上越市、小千谷市と出雲崎町で震度 6 弱を観測したほか、北陸地方を中心に東北地方から近畿・中国地方にかけて震度 5 強～1 を観測しました。

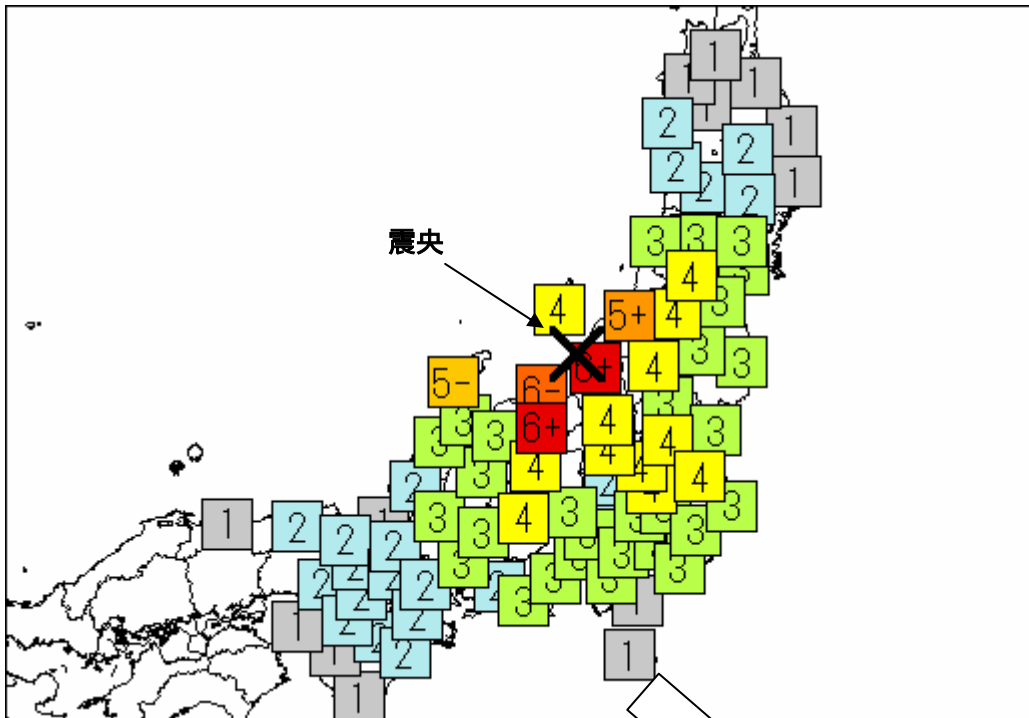
また、10 時 34 分に M4.2（速報値）で震度 3 の余震が発生するなど、余震活動が続いています。この地震の発震機構は、北西 - 南東方向に圧力軸を持つ逆断層型でした。

新潟県で震度 6 強以上の地震を観測したのは、2004 年 10 月 23 日の「平成 16 年（2004 年）新潟県中越地震」の地震（M6.8）で震度 7 を観測して以来です。

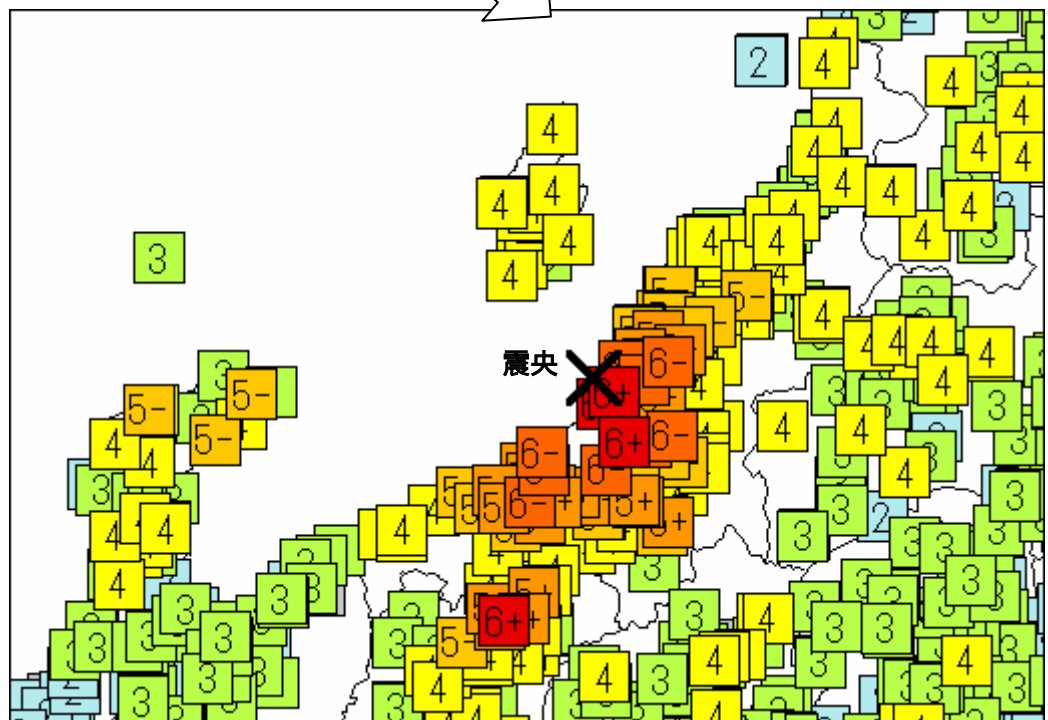
なお、10 時 13 分の地震により、10 時 14 分に新潟県上中下越と佐渡に、「津波注意」の津波注意報を発表しました。柏崎などで弱い津波を観測しましたが、津波は減衰傾向にあることを確認できたため、11 時 20 分に解除しました。今後しばらくは、海水浴や海釣りなどには念のため注意してください。

なお、揺れの強かった地域では、これまでの降雨や余震活動により、土砂崩れや家屋の倒壊などの危険性が通常より高くなっているおそれがありますので、十分注意してください。

2007年7月16日10時13分ころの新潟県上中越沖の地震
震度分布図



各地域の震度分布

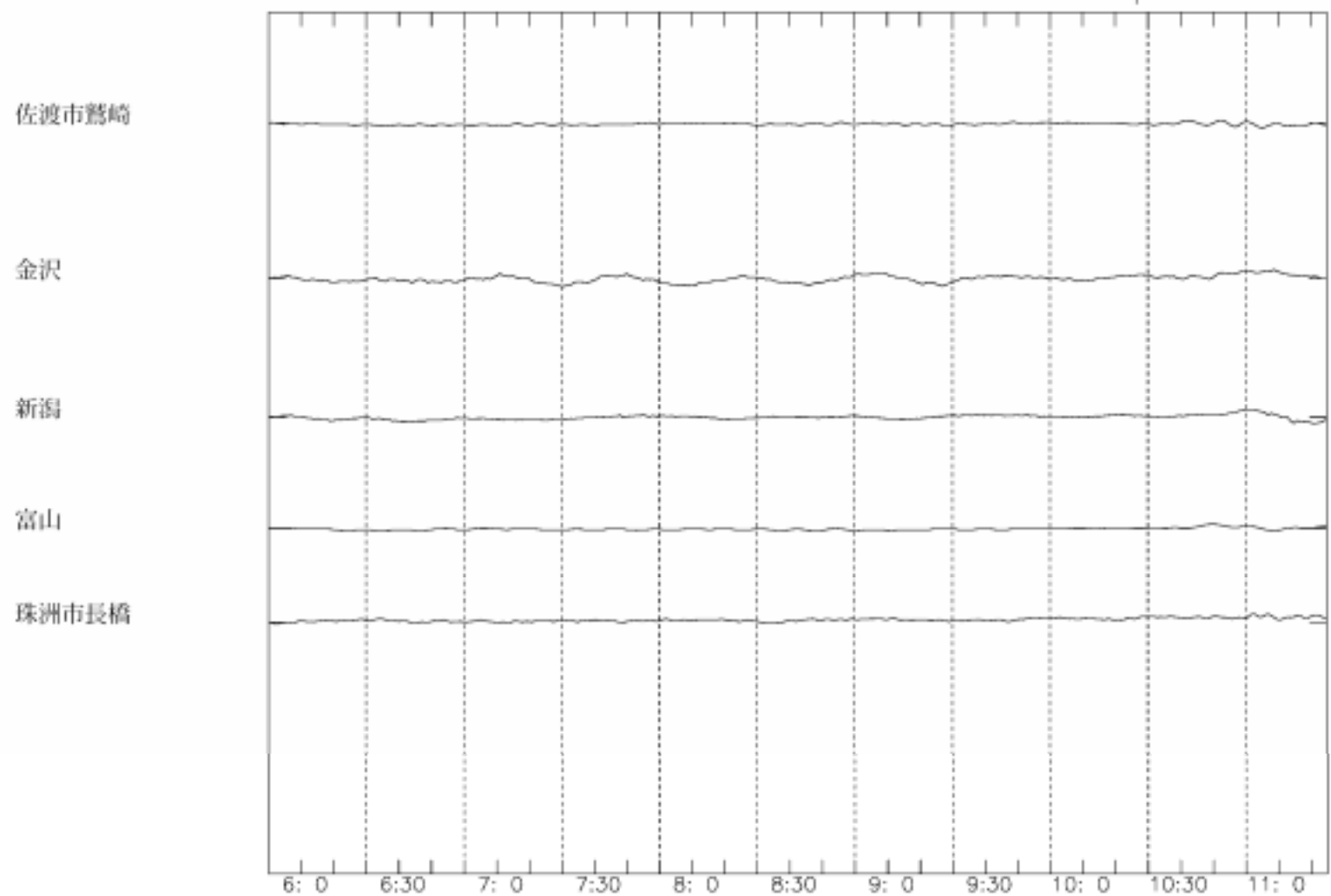


各観測点の震度分布
(拡大)

平成 19 年 7 月 16 日 新潟県上中越沖の地震による津波

< 2007/ 7/16 6: 0 -- 2007/ 7/16 11:25 >

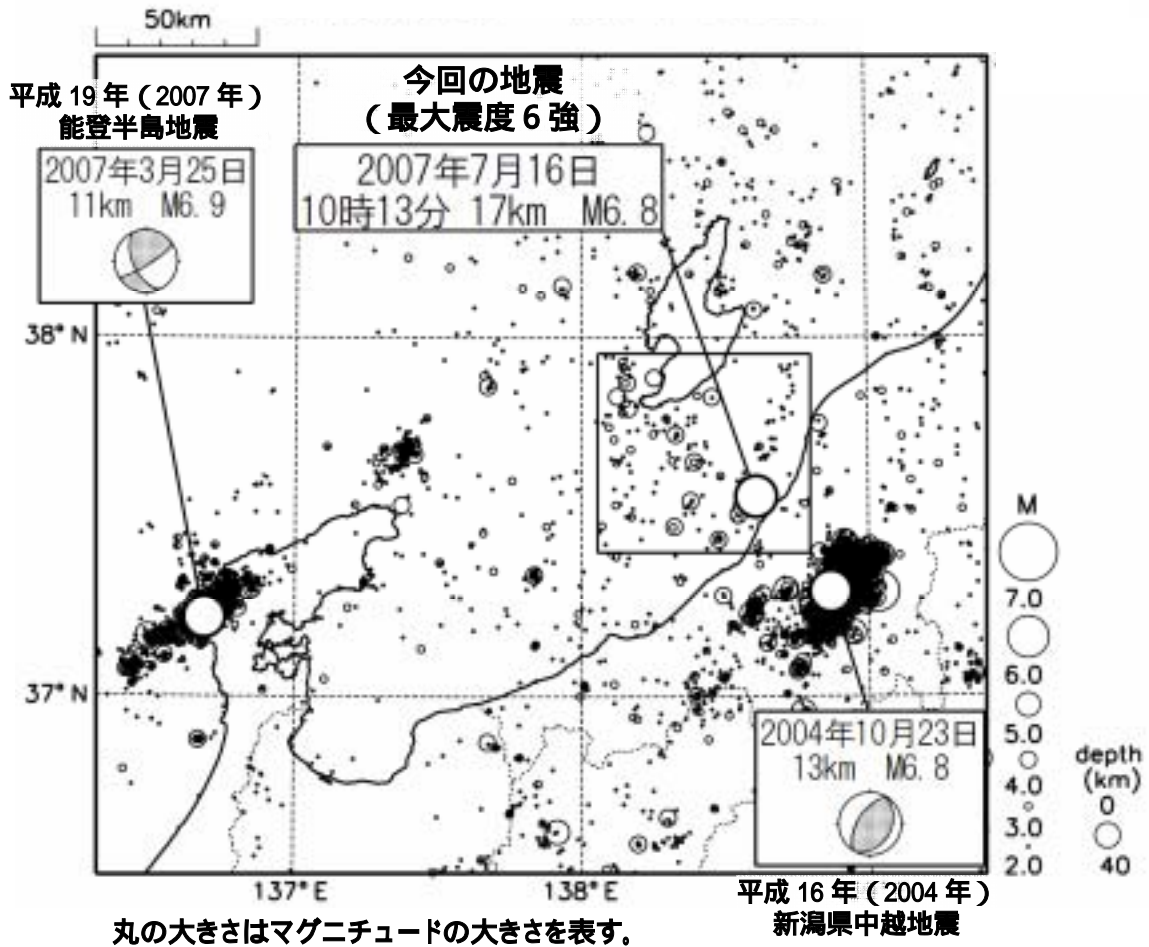
1.0 m



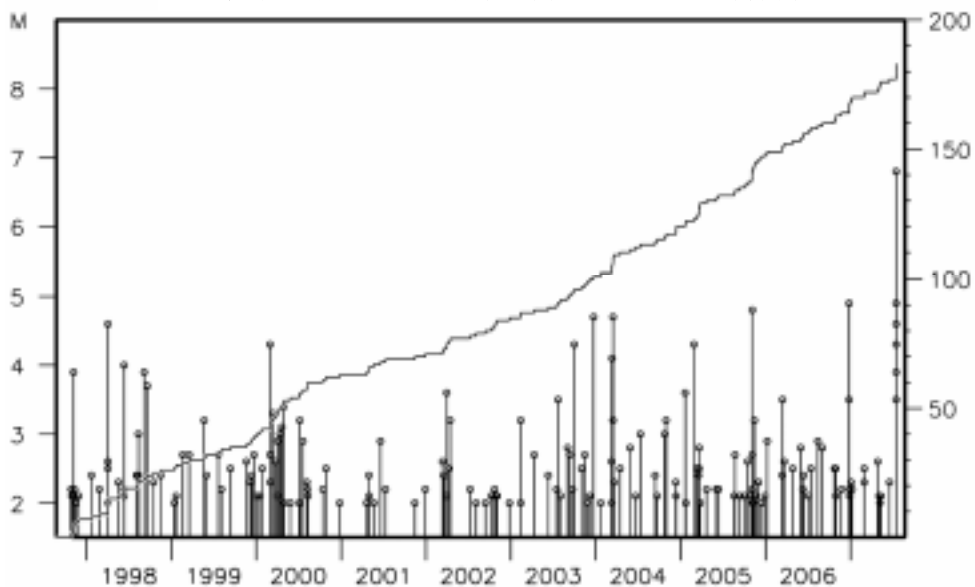
2007年7月16日 新潟県上中越沖の地震（発生場所の詳細）

震央分布図

(1997年10月1日～2007年7月16日11時、深さ40km以浅、M2.0以上)



上図の四角形領域内の地震活動経過および回数積算図

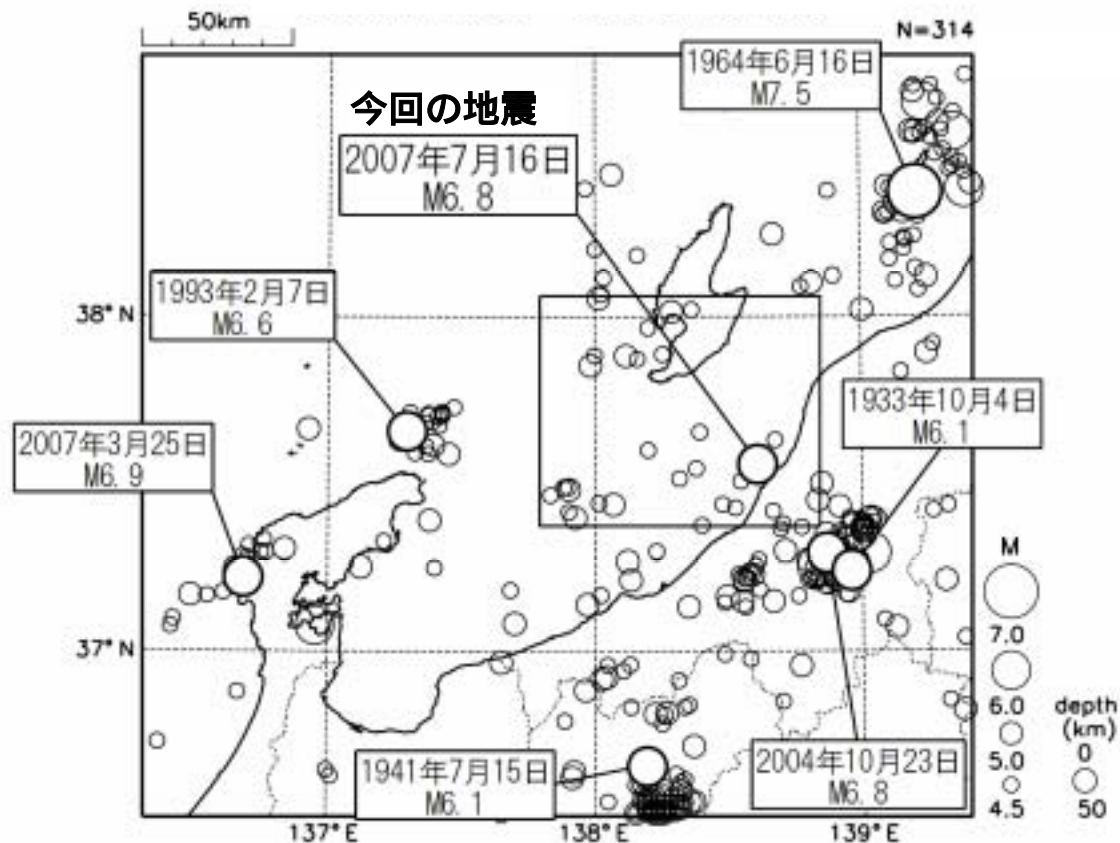


横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し上げたものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

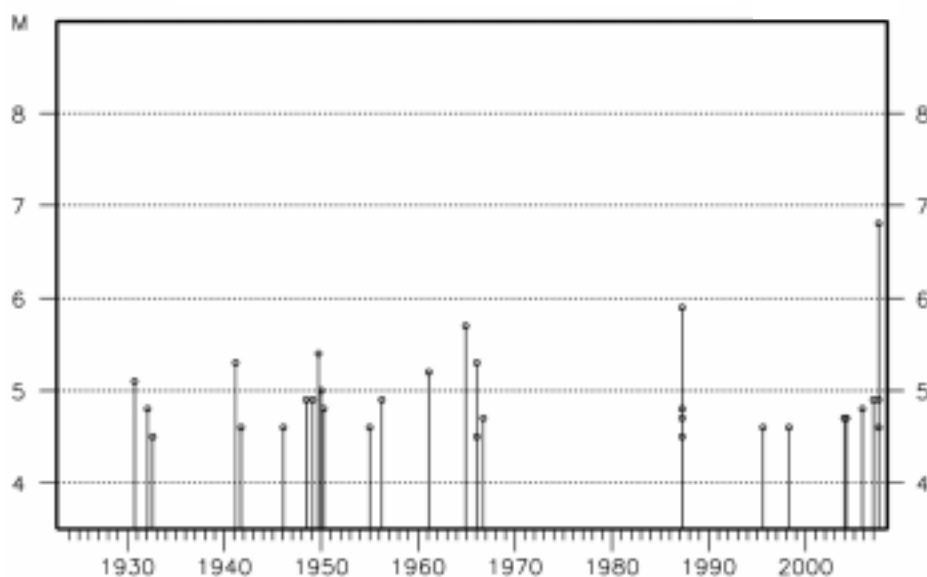
2007年7月16日 新潟県上中越沖の地震 (周辺の過去の地震活動)

震央分布図

(1923年8月~2007年7月16日11時、深さ50km以浅、M4.5以上)



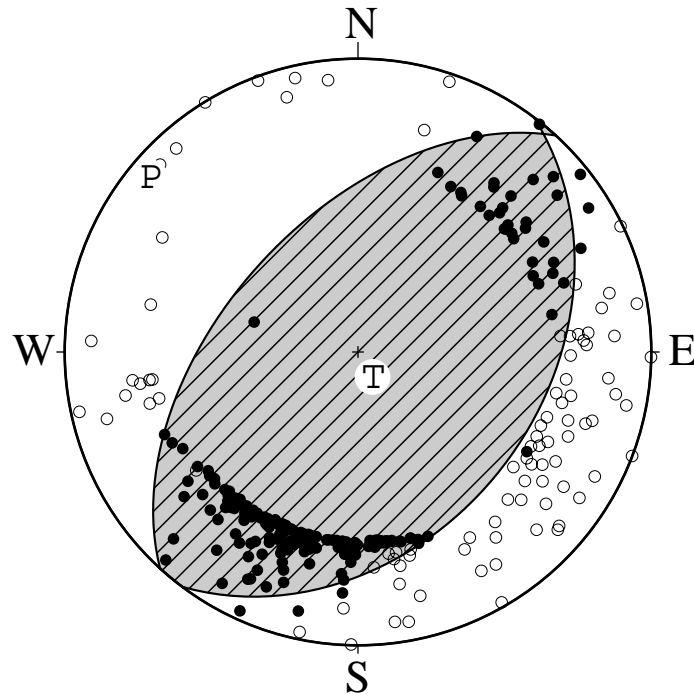
上図の四角で区切った領域内の地震活動経過図



横軸は時間、縦軸はマグニチュード。縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

発震機構解 [初動解] (暫定)

2007/07/16 10:13



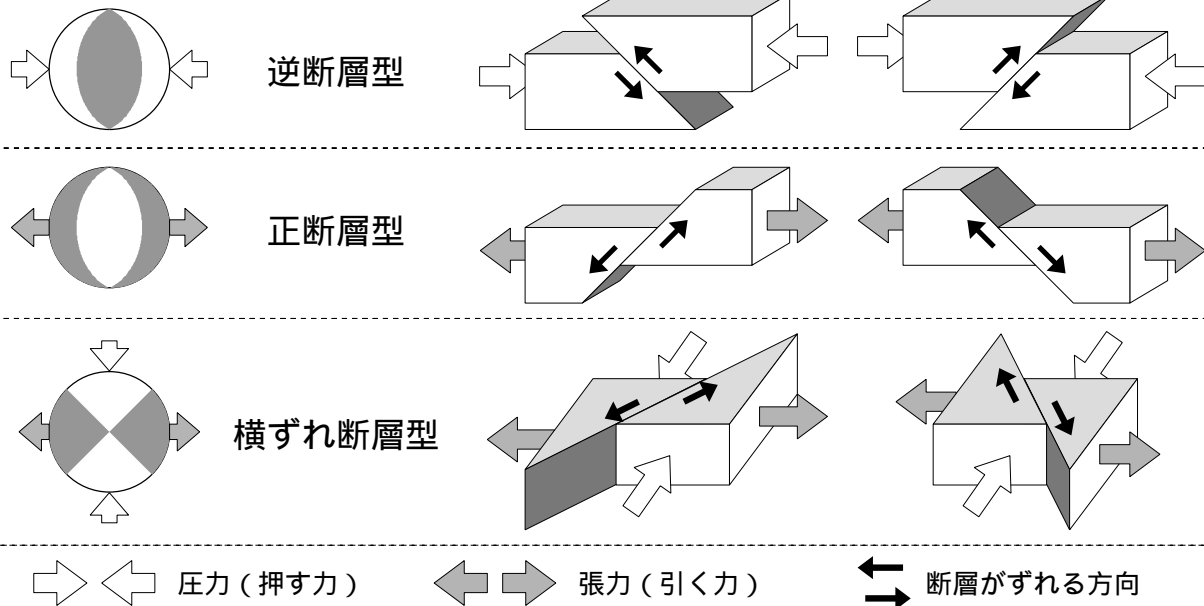
北西 - 南東方向に圧力軸を持つ逆断層型

は初動が上向きの観測点、 は初動が下向きの観測点を示す。
Pは圧力軸、Tは張力軸の方向を示す。(下半球等積投影)

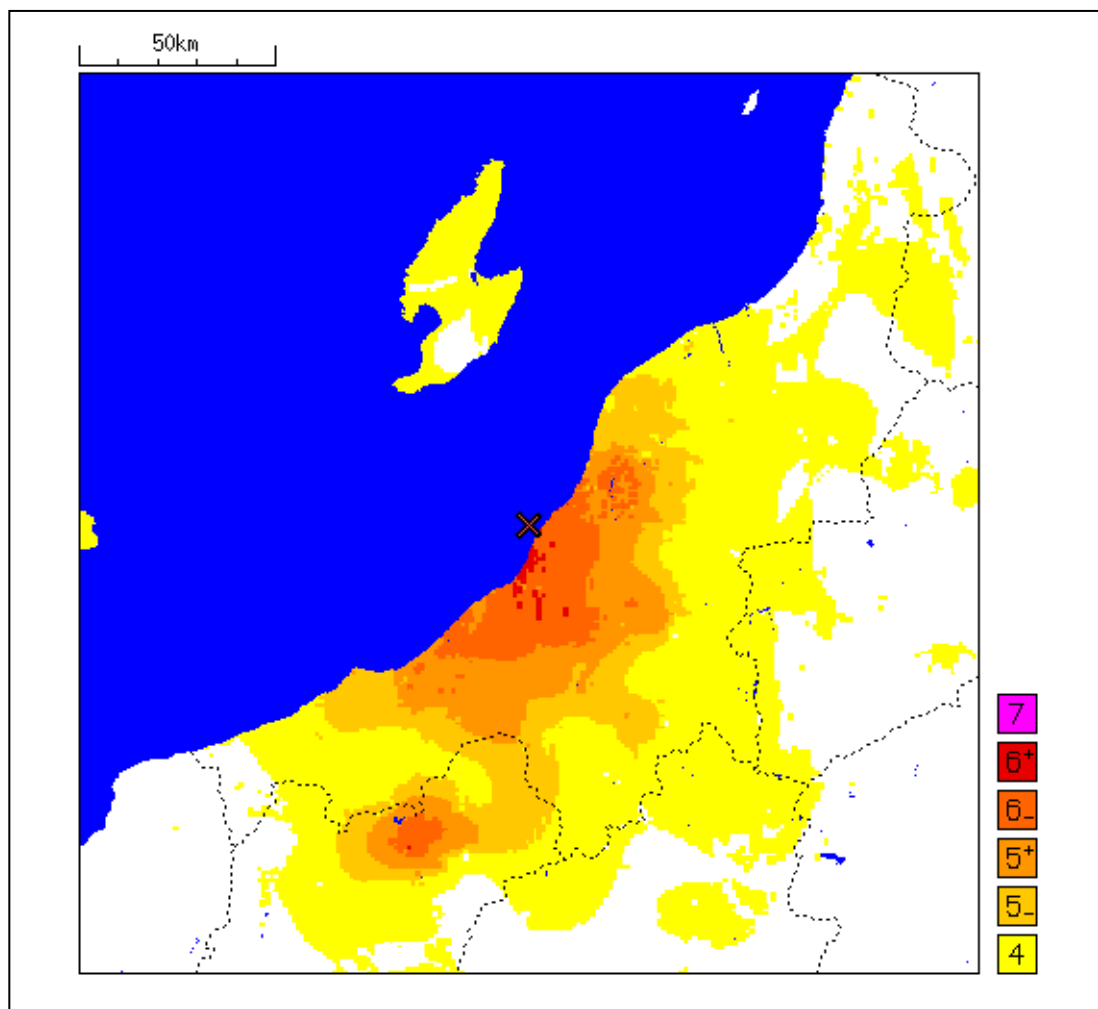
発震機構解 [初動解] について

地震波の初動方向は、地震時に働く力の向きにより異なります。
また、地震時に働く力の向きは、断層の型により異なります。
発震機構解は、これらの性質を用いて地震の初動方向から断層面を推定するものです。

以下に、発震機構解と断層の型の対応関係の典型的な例を示します。



2007年7月16日10時13分頃の新潟県上中越沖の地震 (M6.8 深さ17km:暫定値)の推計震度分布図



〔解説〕

越後平野と長野県北部の一部に震度6弱以上の地域が広がっています。中越地方沿岸地域などでは震度6強の地域がみられます。

これらの地域では被害の確認と、今後の余震による被害拡大への注意が必要です。

<推計震度分布図利用の留意事項>

個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目してご利用下さい。